

# 紙コップで

## 銅鐸をつくってみよう！

### 銅鐸とは

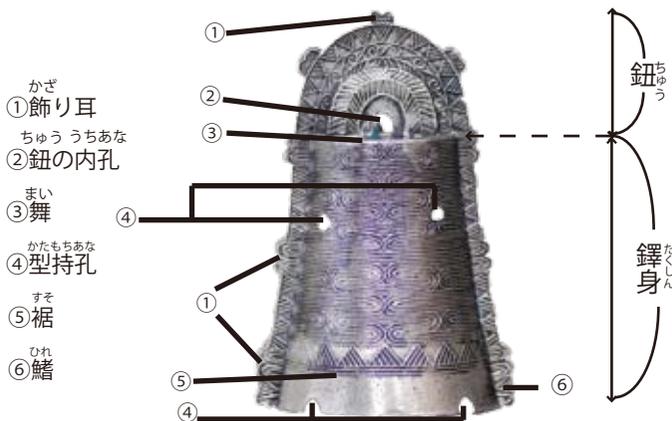
①弥生時代のおまつりに使われていたと考えられている道具のこと。

②中国や朝鮮半島から米作りと一緒に伝わった青銅という金属を溶かして、鑄型という型に流してつくっていたそうです。

(石でできた鑄型と土でできた鑄型があるよ)

③弥生時代のはじめ頃の銅鐸は小さいものですが、時代が進むにつれて大きくなっていきました。

(現在は、小さいものは聞く銅鐸、大きいものは見る銅鐸と区別されています)



りゅうすいもんどうたく  
流水紋銅鐸  
(学習館体験にて作成)



### 紙鐸のつくりかた

#### 用意するもの

- 紙コップ 1つ
- はさみ
- えんぴつ
- 色えんぴつなどの色をぬるもの
- きりとり用紙を印刷したもの (印刷ができなければ A4 紙 1 枚)

紙鐸の銅鐸をまねて  
紙鐸だね！



①きりとり用紙の枠内に絵をかいたり色をぬる

おめ  
折り目

②きりとり用紙をきりとる

せん  
キリトリ線

③鈕を横で半分に折って、キリトリ線にそってきりとる

④折り目にそって折る (やまおり)

⑤のりしろにのりをつける

⑥紙コップの側面に鐸身を、紙コップの底に鈕をはりつける



ホームページにもくわしいつくりかたがのっています。みてみてくださいね。